

At a glance

# ダイセキを知るための11のファクト

ダイセキの成長・強み・社会的価値を、主要数値や外部評価を交えて一覧にしました。未来に向けた挑戦と価値創造の全体像を財務・非財務の両面からお伝えします。

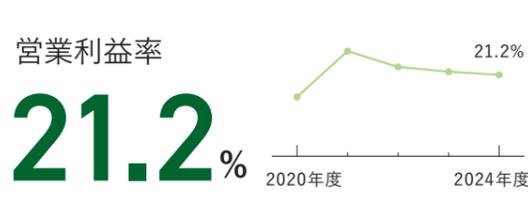
## ダイセキの今

### 成長する売上高 01



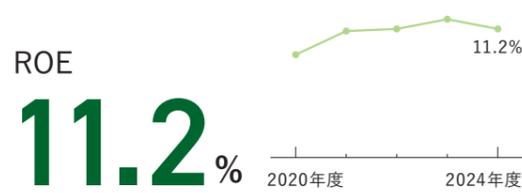
事業拡大、全国ネットワークの整備、多様な産業廃棄物分野への参入、技術開発が売上拡大に寄与しています。

### 安定した高い収益性 02



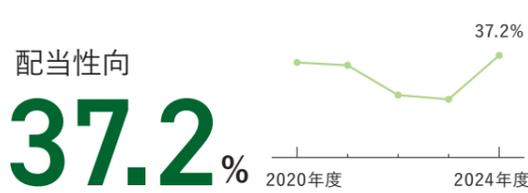
廃棄物の処理費用とリサイクル製品の売上の両方で収益を上げる優れたビジネスモデルを構築しています。

### 着実に向上するROE<sup>※1</sup> 03



2024年度のROEは11.2%でした。2030年度までに15.0%を目指します。

### 株主還元のさらなる拡充へ 04



2024年度の配当性向は37.2%でした。2026年度までに40%を目指します。

### 世界トップ2%<sup>※2</sup>のCDP評価 05

2年連続で

## Aスコア獲得



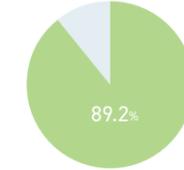
企業や自治体の環境対策に対する国際的な環境格付機関、CDPの最高評価であるAスコアを2年連続で獲得しています。カーボンニュートラルへの取り組みや透明性の高い情報開示が高く評価されました。

※1 企業の自己資本に対して、どれだけ利益を上げているかを示す指標 ※2 CDPが開示要請している企業の数を分母に算出

## ダイセキが生み出す価値

### 資源循環への貢献 06

# 89.2

%

廃油、廃液、汚泥などの様々な産業廃棄物を再生燃料やセメント原料にリサイクルすることで、資源循環に貢献しています。

リサイクル率の算出方法について

### ダイセキがもたらすCO<sub>2</sub>排出量削減効果 07

# 64.3

万t-CO<sub>2</sub>

25万世帯が1年間に排出するCO<sub>2</sub>に相当<sup>※3</sup> 廃油や廃溶剤等を焼却せずにリサイクルすることでCO<sub>2</sub>排出量を削減します。

温室効果ガスの削減貢献量について

## 価値を生み出す強み

### ほぼ全国をカバーする多様な産廃処理能力 > P.54 優良産廃処理業者認定制度 08

産廃収集運搬許可の自治体数 **45** 都府県 (47都道府県中) 産廃中間処理の社内受入品目数 **32,635** 案件

優良産廃処理業者として、ほぼ全国の自治体から収集運搬の許可を受けており、多様な産業廃棄物を自社処理施設で対応することができます。産業廃棄物は廃掃法<sup>※4</sup>では37種類に区分されていますが、ダイセキは環境負荷低減と顧客の多様なニーズに応えるため、より詳細な品目分類で管理を徹底しています。

### 従業員数100名以上の工場におけるシェア 09

# 25.6

%

日本国内の従業員100名以上の工場24,252のうち、6201工場と取引実績あり

全国に幅広い製造業の顧客基盤を持ち、大量の産業廃棄物を迅速かつ確実に処理し、大規模な排出事業者のニーズに対応しています。2030年度までに30%のシェア獲得を目指します。

### グループ連携のワンストップサービス 10

グループ内における同行営業案件数

# 988

件

グループ連携で複数のサービスを同時に提案するワンストップサービスの営業を推進し、グループ各社の新規顧客の開拓につなげています。

## 今後の成長に向けた投資

### 未来を見据えた戦略的投資 > P.35 CFOメッセージ 11

2024年度～2026年度における成長投資+人的資本投資

# 260

億円

2024年度から2026年度の3年間で、事業拡大や技術導入、人材強化のために、合計260億円の成長投資と人的資本投資を行います。

※3 2023年度に家庭から排出されたCO<sub>2</sub>は2.52t-CO<sub>2</sub>/年(令和5年度家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態統計調査より)

※4 廃掃法の正式名称は廃棄物の処理及び清掃に関する法律